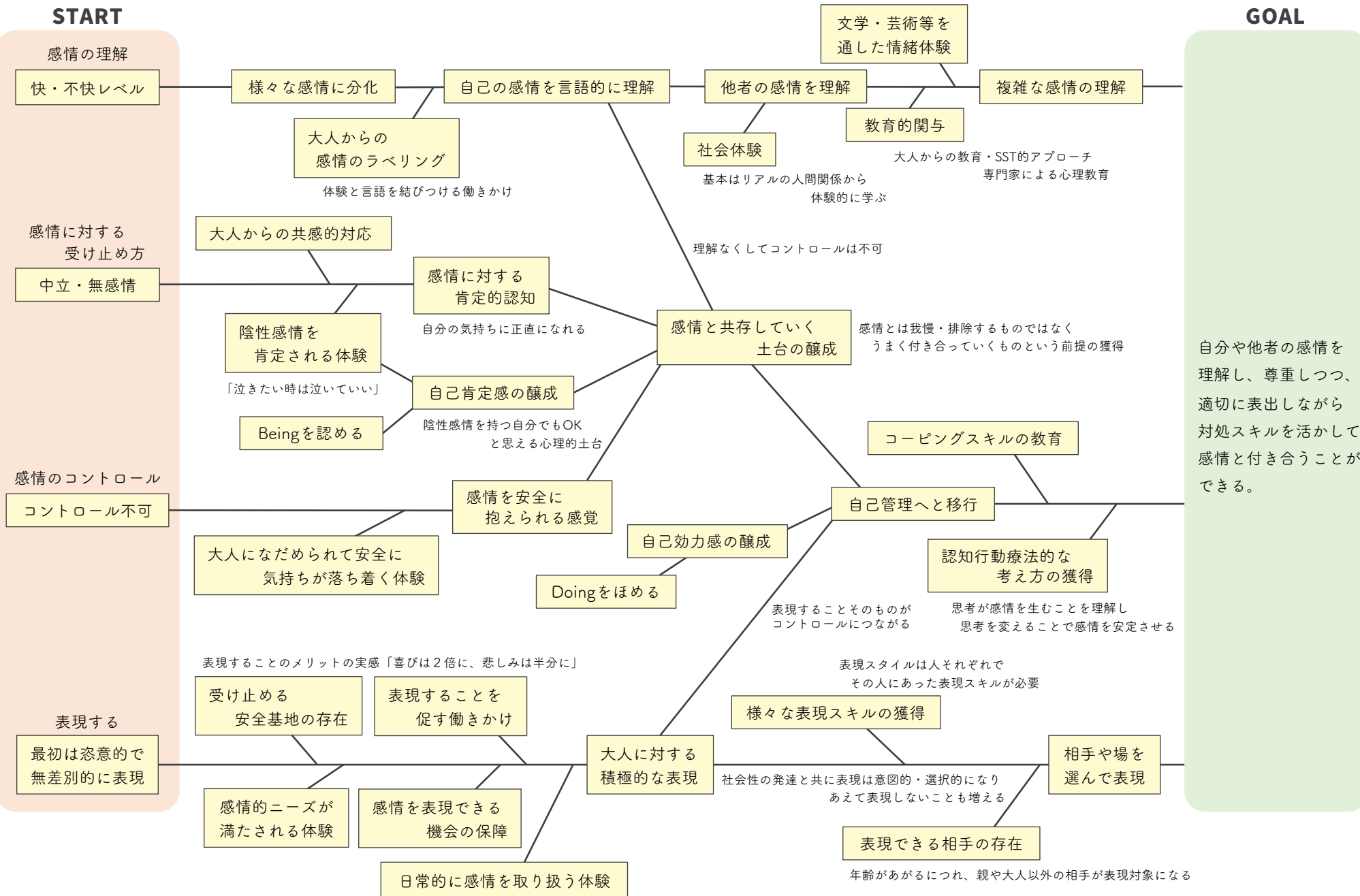


感情の発達をロードマップにしてみた

START

GOAL



トリセツ

- ◇この資料は、子どもの感情の発達のプロセスと、感情の発達を促すために必要な働きかけをまとめたものです。
- ◇ロードマップは『Dr.STONE』の中で、石神千空がロードマップを作って科学文明の復活を成し遂げるところから着想を得ました。心理ケア・心理教育・セラピーなどもロードマップ化して整理すると、どの段階でつまづいていて、今、何が必要なかが明確化されるのではないかと、という発想のもとで作りました。
- ◇感情の発達をテーマにしたのは、自分で様々な心理教育の素材を作っているものの、個人的には感情を扱う心理教育はあまり好きになれない部分があります。どうしても言葉だけが上滑りしてしまい、体験や情動が切り離されたリアリティのない「お勉強」に感じてしまうことがよくあります。その違和感の正体を突き止めたいと思い、このような形で整理してみました。面接室で心理教育を行う際は、ロードマップの右側の部分（教育的関与・コーピングスキルの教育）が中心となりますが、まずは左側の部分がしっかり作られていることが必要であり、その中でも重要なことは「感情と共存していく土台」であり、この土台が整っていない状態で教育を行っても効果は薄いのではないかと感じます。
- ◇心理職として、土台を作るために何をすべきか、何ができるか、という考えはまだまとまっていませんが、ただ闇雲に心理教育を行うのではなく、このロードマップを意識して、面接室で子どもにどう働きかけるのか、どんな言葉をかけるべきかを考え続けたいと思います。
- ◇なお、これはエビデンスがあるものではなく、何かしらの理論的根拠があるものでもありません。私が様々な子どもと接する中で経験的に感じてきたことや、自分の子どもがどのように感情と付き合っているのかを観察する中で、きっとこうだろうと考えてまとめたものです。その点をご理解いただき、ご参照ください。
- ◇ロードマップ中の「Beingを認める」と「Doingをほめる」については、別資料「褒めるの3段階活用～Beingを認めよう」をご参照ください。



『Dr.STONE』は週刊少年ジャンプで連載されていた漫画で、世界中の人々が謎の光で石化し、数千年後に目覚めた主人公・石神千空が科学の力で荒廃した世界に文明を復活させる物語です。千空は天才的な科学者で、失われた技術をゼロから再構築するための「ロードマップ」を基に、万能薬サルファ剤、携帯電話、宇宙船など文明復興に必要なものを作っていきます。ロードマップとは目標達成に向けた計画や戦略を段階的に示す図やリストのことで、プロジェクトやビジネス戦略において重要な役割を果たすものです。